

2

どの病院に行く？

さあ、いざ病院へ行こうとなっても、私たちの周りには診療所やクリニック、専門病院や総合病院、大学病院など、医療設備も規模も異なるさまざまな病院があります。

診療所やクリニックは日常的な病気やけがの治療、専門病院は手術や入院が必要な場合や救急医療を要する場合、大学病院は重症の救急患者や高度な医療を要する患者への医療というように、それぞれの病院は役割を分担し、連携して地域の医療を支えています。

日常的な病気や軽いけがなら、身近な診療所やクリニックを受診するのが患者にとっては最も便利です。しかし、中には「地域の診療所のことにはよくわからないし、総合病院や専門病院のほうが何となく安心する」などの理由で大きな病院を受診する人も少なくありません。

このような医療機関のかかり方をする中で、専門病院や総合病院に外来患者が集中し、長時間待たされたり、その割にはすぐに診察が終わり、丁寧な診療をしてもらえなかったという不満が生じることも。とにかく大きな病院へという考え方は、医療を受ける患者にとっても、病院にとっても、さまざまなデメリットが生じています。

